

様式第9号（第6条関係）
(交付対象議員用)

支 出 伝 票

交付対象議員	整 理 番 号
	1 - 1

支 出 項 目	資料作成費	令和6年2月28日 起票
支 払 金 額	金 額	¥ 3 1 9 0 0 0 円
内 容	創生市川 会報 印刷 ポスティング代	按分割合 100%
《領収書添付欄》 別紙		

領 収 書

No.

R6年2月28日

小泉文人

様

¥319,000-

但し 創生市川 会報11号
上記正に領収いたしました。



金額の内訳

(*は軽減税率の対象です。)

10%税抜金額 ¥290,000 / 消費税額等 ¥29,000

株式会社オフィステイ

千葉県市川市

TEL:

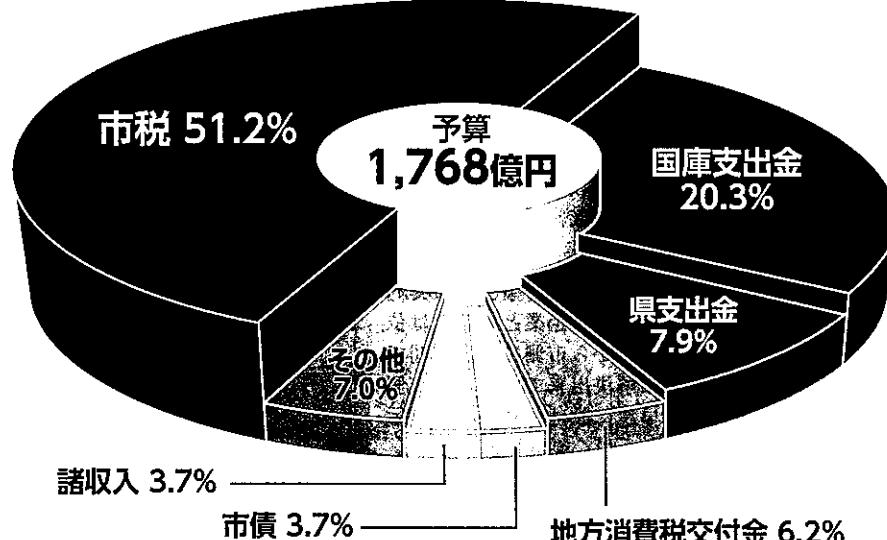
FAX:

登録番号

担当者



令和6年度一般会計当初予算(歳入)



ほとだ ゆうな(1期)
田中 甲市長
岩井 清郎(10期)
国松 ひろき(2期)
小泉 文人(4期)代表
加藤 武央(6期)
石原 たかゆき(2期)
稻葉 健二(6期)市議会議長
大久保 たかし(3期)

予算総額 2,795億1,400万円

前年度比
(+111億5,700万円、〈過去最高額〉
+4.2%)

一般会計の予算規模	1,768億円 (前年度比+100億円、+6.0%)
特別会計 (国民健康保険、 介護保険、 後期高齢者医療)	797億9,500万円 (前年度比+7億6,800万円、+1.0%)
公営企業会計 (下水道事業会計)	229億1,900万円 (前年度比+3億8,900万円、+1.7%)

〈主な要因〉

歳入
↓定額減税
↑交付金による減税分の補填
↑建設事業費の増による市債発行の増
↑土地や家屋の評価替え(3年に1度)

歳出
↓新型コロナワクチン接種の終了
↑国府台公園野球場、斎場建替えなどの建設事業費
↑デジタル地域通貨の本格実施
↑定年引上げで退職金が増える、児童手当を拡充

令和6年度予算措置・政策要求

69.7%の要望が
取り入れられました!

■要望・要求項目 89項目
■予算措置等の取組み対象 62項目
■達成率 69.7%

当初予算で措置された要望・要求項目のうち、主なものを記載します。

●首都直下地震などに備え、防災備品の充実、実践的な防災訓練の実施等、危機管理対応の一層の強化を推進し、市民への情報提供の充実等必要な措置を講ずること

■地域防災力強化事業<継続> 6年度当初予算 10,984千円

- ・自主防災組織が整備する防災用品等に対する補助、水害ハザードマップ・減災マップの更新、総合防災訓練の実施等を通じ、市民の防災意識の向上・地域防災力の強化を図る。



●自治会加入の促進

■自治会コミュニティ活動支援補助金<拡大> 6年度当初予算 6,000千円

- ・自治(町)会が主催または中心的な役割を担って市内で開催する、盆踊り、もちつき大会、文化祭等の地域住民との交流を促す活動の支援により、自治会活動の活性化を図る。
- ・活動に使った消耗品・備品の購入、器材や備品の借用、会場設営の委託費用等の対象経費の1/2(上限10万円)を補助。



●市川市斎場の建て替えについては、市民意向を十分に踏まえて行うこと(社会情勢の変化に伴い、市民ニーズの高い合葬式靈園の拡充を検討のこと)

■斎場施設整備事業<継続> 6年度当初予算 120,425千円

- ・開設から40年が経ち老朽化が進む斎場について、設計・建設・維持管理運営を一括発注するDBO方式で現在の敷地で建替え。
- ・6年度は民間事業者を決定、設計業務に着手。

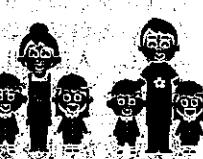


健康福祉
委員会関係

●保育士等の人材確保のための施策の推進

■保育士確保対策事業<継続> 6年度当初予算 482,756千円

- ・待機児童ゼロを継続するため、民間保育施設に対して必要な保育士の確保につながる各種助成等を行う。(主な助成制度)
- ・保育士宿舎借上げ支援、保育所等業務効率化の推進、保育所等の安全対策、保育士就業開始資金支給、幼稚園型認定こども園等の待遇改善、保育士資格の取得支援



●ごみ収集のあり方について、市民意識の把握に努め、必要な措置を講ずるよう配慮

■ごみ減量・資源化促進事業<継続> 6年度当初予算 960,650千円

- ・市の分別収集により、家庭からごみとして排出される紙・布類、ビン、カン、プラスチック製容器包装類を資源化し、ごみの減量を図る。



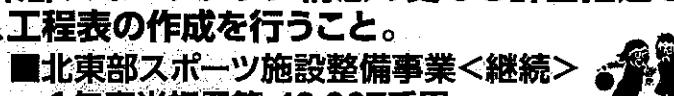
■ごみ発生抑制等啓発事業<重点><継続> 6年度当初予算 6,023千円

- ・「資源循環型都市いちかわ」の実現や更なるごみの減量・資源化等に向け、資源物やごみ分別について市民理解を促す。

●北東部スポーツタウン構想の更なる計画推進を実現、工程表の作成を行うこと。

■北東部スポーツ施設整備事業<継続> 6年度当初予算 49,807千円

- ・J-COM北市川スポーツパークの機能拡充を図るために、隣接する用地をバスケットボールコートやスケートパークに整備し、アーバンスポーツ空間を創出する。



建設経済
委員会関係

●市民が安全・安心に利用できる道路の整備・整備工事の実施的実施

■人にやさしい道づくり重点地区整備事業<継続> 6年度当初予算 43,000千円

- ・道路改良事業<継続> 6年度当初予算 152,500千円
- ・歩道の段差解消・平坦性確保等のバリアフリー化、新たな歩道の築造を進める。



■通学路区画線等整備事業<継続> 6年度当初予算 14,000千円

- ・通学路のうち歩車共用が分離されていない歩行者専用道路について、区画線やカラー舗装により歩行者空間を視覚的に区分し、安全性の向上を図る。

●市川駅南口の京葉ガス工場跡地の街づくりのための整備・活性化、市川駅周辺の整備

■無電柱化推進事業<継続> 6年度当初予算 269,818千円

- ・市内の架空の導線網の整化、安全で利便性の高い歩行空間の確保等を目的的に実現するため、計画で定めた整備箇所等において電線共同溝の整備を進め。

・市道0216号(市川駅南口バス通り)など2路線の整備設計実施

・都市計画道路3・6・32号市川鬼高線の整備工事・引込管路設計委託



岩井 清郎

1300年の歴史
「下総の国の国府」と「真間の手児奈」は
シティセールスの柱

シティセールスの基本は、市川市の魅力を全国そして世界に知ってもらうことです。1300年前に国府台地区に「下総の国の国府」が置かれたこと。また、1300年前の万葉集に「真間の手児奈」が詠われたこと。この2つの史実は、近隣自治体には無い市川市の誇れる宝です。

下総の国とは、東は銚子、西は隅田川の東岸、南は千葉市、北は茨城県および埼玉県の一部が含まれ、千葉県の面積の2分の1以上の広さで、その地域の行政の中心「国府」が市川市国府台にありました。国府台の地名の由来は「国府のある台地」です。

2年前、国府台野球場の改修で土を堀り起こしたところ、1300年前の遺跡が出土し、調査の結果「国府の遺跡」と確定され、現在国府の中心であった「国庁」を調査中です。

作家中津攸子先生が書かれた「絵本・真間の手児奈」には、国府を造るために都から来た役人に対し、手児奈が昔から真間に住む人としてしっかり意見を述べる姿が描かれています。

昨年10月に石川県小松市で開催された「国府サミット」に市川市長が初めて参加し、次回は市川市で開催(時期未定)されることが決まりました。これを好機と捉え、市川市の持つ魅力「市川の梨」「行徳の神輿」「三番瀬の海苔」「市川ゆかりの文化人」などを加え、シティセールスに力を入れて参ります。



全国国府サミット in 小松 (2023.10.21/右端が田中市長)

議会改革特別委員会委員長／経務委員会委員／議会運営委員会委員



加藤 武央

私は、常に「市民が安全で安心して暮らせる逞しい市」を目指し、「市民が市政の主役」の政策理念の下で12月定例会の代表質問を行いました。

淀鋼社員寮10棟解体後の跡地はすでに他企業に売却され、新事業計画が提案されている。私は当該地の開発計画には開発条例に基づき小学校、保育園など所管する関係部署を含めた宅地開発会議を実施して既存の施設や周辺の住環境に配慮するよう、関係部局に強く要望しました。

梨の受粉用花粉と「火傷病」対策について

12月定例会で来年用の花粉が全く出来なくなってしまった場合、梨農家への支援策は出来ないのかと質問し、市は来年用の花摘作業が人手不足となる為「梨の花摘ボランティア」を「広報いちかわ」などで募集した結果、令和6年1月20日から31日までに363名と予想をはるかに上回る応募を頂き終了。改めて関係者の皆様方には感謝申し上げます。



受粉用花粉と「火傷病」

タムスは来年3月末には桐和会に委譲される契約

であるが、市が貸出している他2企業との話合は依然難航している。私は3年前から市側に代表質問で取り上げてきたが、未だに解決出来ていない。市側は3法人との協議の場を早急に設け、私からの提示案を含め解決を目指す事を、強く要望しました。



柏井リハビリ病院タムス

(仮)北市川駅整備計画案については田中市長は「まずは該当地周辺の都市計画を見直しをすべき」と答弁した。市側は今までに関係権利者は事業準備会を立ち上げ、サウンディング調査を実施してきた。今後は新たな街づくりの実現に向け、地元の事業準備会の意見を聞きながら検討してまいりますとの、答弁。

国府台野球場は、現在は防球ネットの建設を行い、令和7年3月での新しい野球場で春の開会式、開幕戦を目指しています。そして私が提案しているネーミングライツの効果を最大限に發揮する為には、早い段階でパートナー選定、公表する必要があります。公表時期は供用開始の半年程度前が必須です。この時期であれば、各団体等の行事案内などに新しい野球場の愛称も記載出来ますので是非とも早急の決定を強く要望します。

以上、報告しますが、私は「自然災害に強い街づくり」を最重点課題として引き続き全力で「市民が安全で安心して暮らせる逞しい市」を目指します。

監査委員／健康福祉委員／市川市大町レクリエーションゾーン協議会委員



大久保 たかし

市川市は本年90周年を迎えました。この記念すべき年に、市民の皆様が愛着を感じられる、住み続けたいと感じられる、幸せを感じられる、市政運営を引き続き行って参ります。

用途地域について

今年～来年にかけて、市川市は20年ぶりに、都市計画マスタープランの改定を行います。

都市計画マスタープランは法律に基づく、都市計画の基礎となる、基本的な方針であり、この計画に基づいて街づくりがされてゆきます。

駅前においては、一定の地域での建築物の高度化をしつつも、どこかの駅で見たような同じ街並みをつくるのではなく、雰囲気と賑わいのある、訪れてもらえるような街づくりを。

住宅地においては、超高齢化社会の中で、近くで買い物ができる、緑あふれ、さらに資産価値が高まるような街並みを形成してまいりたいと考えております。

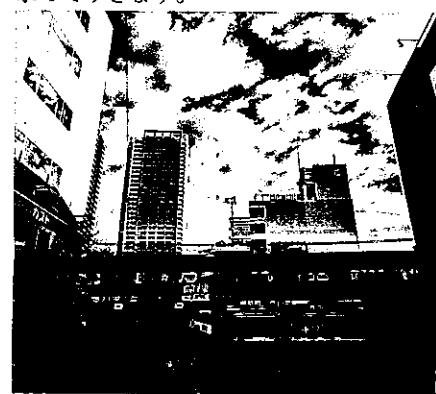
市立学校の防犯対策について

2001年に発生した通称「池田小事件」以来度々発生してきた学校侵入事件を受け、市川市は令和5年度より本格的に学校の門へ電子錠を設置してきました。

こども達の安全を守るために、議会で何度も取り組んできたこの課題を令和6年2月議会の代表質問で取り上げ、「令和6年度は富貴島小学校への設置を予定している」との答弁を引き出しました。

年度内の早期の設置を要望し、安全な

令和6年2月議会でも取り上げました、数十年間硬直化している市街化調整区域や用途地域の全面的な見直しを引き続き求めてゆきます。



学校生活がおくれるように引き続き尽力してまいります。



市川市土地開発公社理事／議会運営委員会副委員長／建設経済委員会委員
議会改革検討委員会委員



石原 たかゆき

「教育を支える」「福祉を守る」「スポーツを育む」の3本の柱を中心に、市政の諸課題に対し、全力で取り組んでおります。以下令和5年度の主な取り組み、実績をご報告いたします。

教育を支える

① ICT教育の環境整備が充実しました。

市川市は令和4年9月から学習者用タブレットを児童生徒の学習等に使用できるようになりました。しかし当初からネットワーク環境等に課題が山積していたため、早期の原因究明と改善を要望して参りましたところ、下記のように改善が図られました。

(1) 繋がりにくいネットワーク環境から繋がりやすいネットワーク環境へ

繋がりにくい状況の原因として、学校のネットワーク環境が複雑なことが要因と考えられるため、ネットワーク環境の単純化を要望して参りましたが、令和5年度中に単純化（ローカルブレイクアウト方式）が実現し、ネットワーク環境が繋がりやすくなりました。

(2) 学習者用タブレット端末を児童生徒や先生方の使い易いものに

学習用端末が1人1台へ配布され本格的な使用が始ましたが、学習用端末の破損が相次ぐとともに、購入時期により機種がバラバラなため教師用と児童生徒用が違う等の課題が見受けられたことから、①～④の改善を要望しました。令和5年度から更新時に合わせて、①～③の要望通りに学習用端末を整備することになりました。ネットワークが繋がりにくい原因はスペック（性能）の低さにも起因すると考えられるため、引き続き④スペック（性能）の高いものにするべく、要望を続けて参ります。

- ①機種がバラバラなどを統一
- ②壊れにくい機種に
- ③管理面からレンタルに統一
- ④スペック（性能）の高いものに

福祉を守る

● 市川市は現在、指定難病者の医療助成として月3000円を支給していますが、本助成開始から8年が経過しており、物価高等による経済的負担軽減のため増額を要望しました。

特に、小児慢性特定疾患のお子さんの保護者の方には、頻繁な通院に係る交通費等の、医療助成以外の負担はどこからも支援されないことから、小児慢性特定疾患のお子さんへの増額を強く要望しました。

スポーツを育む

● 江戸川河川敷サッカーフィールドの全面改修工事が完了し、令和6年4月から使用できるようになりました。安全面の確保の点から、再び渡り抜本的な再整備の必要性を説いてきましたが、やっと実現し、利用者の皆様に安全にサッカーを楽しんでいたいことができるようになりました。今後も、人工芝サッカーフィールドの新設を強く要望して参ります。



令和6年4月供用開始

環境文教委員長／議会運営委員／市川市立小・中及び義務教育学校通学区域審議会委員



稻葉 健二

特別支援が必要な子どもたちの支援

議会で継続して提案を続けている特別な支援が必要な子どもたちへの支援方法は多岐に渡って考へる必要があります。子どもたちが成長していく中で、その子にあった対応を考えていくべきです。そのためには、支えるスタッフなどを増やして安心・安全な環境づくりを進めなければなりません。しかし、人を増やすには費用もかかるうえ、求めに応じる人がなかなか集まらない現実もあります。そして、一番大切なことは保護者との連携です。幼稚園・保育園・学校など子どもの状況を共有して一緒に支援方法を考え、進めることだと思います。現在市川市では私立幼稚園や保育園で市独自のものを含めて人員を増やすことを応援できる補助金などがあります。ただその補助金などを申請するには保護者の同意が必要です。インクルーシブ教育に必要な人手を増やすには保護者の理解と協力が不可欠です。特別な支援が必要なお子さんの状況について関わる人たちで理解・共有してしっかりとサポートができるかたちを前に進めることができることが大切だと思います。

災害に強い街づくりの考え方

元旦の令和6年能登半島地震は日本中を驚きと悲しみに包み込みました。犠牲になられた方のご冥福と被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。現地のニュースなどで見られる「地域のつながり」を改めて感じました。水道が使えない中で、水の運搬を協働で行ったり、配給された食事や物資を地域の方たちで協力して配つたりしていました。地域の人口なども都市部とは違い名前も顔もわかる方が多い中の活動はとても頼もしく感じました。これを、市川市で想定をした場合、人口数や避難所の収容人数、空地の有無などを考えると同じような活動は難しいと思います。現在市川市は小学校単位で防災拠点協議会を立ち上げ、地域と共に災害時対応を考えたり、訓練などを進めています。しかし、この拠点も全ての小学校で立ち上がってはいません。また、地域によっては小学校が複数重なっている場合に主な活動先を決めかねている状況も見られます。人口密度の高い地域は自宅が倒壊しないければ在宅避難をして頂き、救援物資などは拠点と地域自治会の方と連携して在宅の方まで届けられるような仕組みづくりを今まで以上に理解してもらえるように頑張りたいと思います。加えて自治会などに加入を進めて、今まで以上に地域の方たちの顔が見える関係を日頃から作っておくことも必要ではないでしょうか。災害時は地域で助け合って対応をすることが重要です。



議長／建設経済常任委員／廃棄物減量等推進審議会委員

小泉文人

令和6年度当初予算フレーム 1,768億円



未来を見据えた行政運営 → 「民間とともに開く行政サービス」

みなさんの身近にある図書館や公民館、体育館。「古いなあ」と思ったことはありませんか?

今ある施設の多くは昭和40~50年代に建てられたもので、建設から半世紀が経ち、徐々に建て替えの時期を迎えてます。耐震補強は済んでいますが、冷房が効かない、外壁にひびが入るなど、老朽化が進んでいます。

多くの施設がいっぺんに建て替えとなると、膨大な費用がかかります。しかし、財政事情が厳しいことに加え、少子高齢化はさらに進み、人口減少時代がすぐそこまで来ています。今ある施設を今までどおりに役所だけで維持することは、今後ますます厳しくなるでしょう。

そこで、役所と民間が協力して行政のしごとをする公民連携の動きが全国的に広がっています。市川市でも、クリーンスパの運営などで公民連携は行われていますが、これからは民間のお金と経営力をもつと行政のしごとに生かす必要があります。

コーヒーを飲みながら利用できる図書館、マンションの低層階にある庁舎、市の土地に民間が建てて経営するスタジアム…。これらは民間のお金とアイデアを活かして生まれた役所の施設の例です。市民の使い勝手はこれまで通り、いや、これまで以上によくなる場合も少なくありません。お金が節約できるだけでなく、サービスの中身もよくなる、公民連携にはそんなチャンスも詰まっています。皆様からお預かりしている市税を無駄にすることなく、行政サービスの向上に努めて参ります!

会派代表／環境文教委員会委員／市営住宅審議会委員



国松 ひろき

江戸川の安全対策

市川市の観光資源であり、市民の憩いの場あります江戸川において昨年3月30日に大変痛ましい事故がおきました。行政として何かできることはできないか現地にて視察を行い、また議場においても対策を提案し、様々な対応をしていただきました。

注意喚起の看板が読みにくく数も少ないので、看板の変更・増設・新設を希望し、小さな子どもでもわかる形の看板に変更、47か所に増設していただくとともに、大人向けにも子どもから目を離さないでほしい、という旨の看板の設置も新設していただきました。

また、柵がない箇所において低木で柵の代わりになることから、まず約300Mにわたり1000本のツツジを植栽していただき、更に今年に入り危険と思われる箇所に450M 2200本のツツジを植栽していただきました。

他にもトイレを要望するとともに、付帯物として事故が起きてしまったときに、即対応ができるようにAEDやライフジャケットを常備するよう、要望をしているところです。引き続き事故が起きないよう安全対策を推し進めて参ります。



市有バスの利用

過去に本市では市有大型バスを含む貸し出し事業をおこなっておりましたが、コロナ禍で需要がなくなったことから、この貸し出し事業の縮小化を図り、現在は大型バスを借りることができなくなってしまいました。

そこで自治会がバス研修などで民間事業者の大型バスを借りた際に、本市が負担するなどの補助金制度の創設を要望し、自治会を応援する条例の一環にある、自治会が行事などを実施する場合に適用されるコミュニティ活動支援補助金(補助率1/2、上限10万)を、自治会が研修等でバスを使用する際に利用できるようになりました。

しかし、自治会がお祭りなどでこの補助を受けた場合、上限があるため他の研修などの行事でバスを利用することが難しくなってしまいます。そこでコミュニティ活動支援補助金の上限撤廃や増額、用途をわけるなどしてほしいと要望致しました。

またこの補助金は自治会だけに限られているため、商店会や各種団体は民間事業者のバスを研修等で利用できません。そこでどなたでも気軽に利用できるように要望いたしました。

総務委員会委員長／消防委員会委員／都市計画審議会委員



ほとだ ゆうな



母の立場から、教育の現場から
皆さまの声を届けます。

1年間の取り組みについて一部をご報告いたします。

子育てしやすいまち!いちかわ

①公立保育園の給食について

現在、人材不足により簡易なものにて提供されている土曜給食について、より栄養バランスに留意したものにしていただきたいと要望しました。

②保育士等の人材の確保について

市川市の保育士の求人における、さまざまな取り組みの周知徹底がなされるよう、改善を要望しました。

③保育の質の向上について

不適切保育を防ぐための取り組みや、よりよい保育の在り方について検討を重ねています。

文化と教育で豊かなまちに

①私立高校に進学する生徒への補助金を

県が行っている独自の授業料減免制度について、県外私立高校に通う際は適用外となっています。独自補助金の検討を要望しました。

②児童生徒の登校しぶりについて

不登校や登校拒否の子どもたちはもちろん、登校しぶりの様子が見られる児童生徒にも十分なケアをしていただくよう要望しました。

③図書館の利用状況について

削減されていた図書購入費について要望をし、今年度増額されました。予約が殺到しいつ借りられるのかわからないという状況が改善されること、うれしく思います。

誰もが住みよい、いちかわのまちづくり

①市内全域に防犯カメラの設置を

市内の設置箇所に偏りがみられるため、市内全域に設置が進むよう、取り組みの方法について要望をしております。

②北千葉道路について

現在計画段階である北千葉道路が、市民の生活に寄り添ったものになるよう、強く要望をしております。

健康福祉委員会副委員長／市川市総合計画審議会委員／環境審議会委員
東京外郭環状道路に関する特別委員会委員

創生市川 2024年1月 市内視察を行いました

市川南ポンプ場



本市は、千葉県の北西部に位置し、江戸川や真間川をはじめとする多くの水辺環境に恵まれています。

しかし一方で、市街化が急速に進展し都市型水害が頻発してきた地域でもあります。近年のゲリラ豪雨などでも多くの箇所で浸水の被害がありました。以前より、市の中部にあたる市川南・高谷・田尻地区については浸水被害が頻発していました。外環道路の整備により排水区域が分断されてしまったことを契機に、本市ではここを整備優先区域と位置付け、ポンプ場2か所の建設や雨水環境の整備を進めています。

今回は、建設中の市川南ポンプ場を視察しました。資材の原価高騰による追加予算の確保や半導体の不足等により工期が伸びました。早期の完成に向け、会派一丸となって強く推し進めてまいります。

(仮称)押切・湊橋 建設予定地



江戸川・旧江戸川の都県境区域では、市川橋から今井橋まで約8km区間にわたって一般道路の橋梁がない状況です。東京都

江戸川区と千葉県葛南地域は、都県間の移動の際に橋梁が限られていることから交通が集中し、慢性的な交通混雑が発生しがちなことが課題となっています。

また、災害時には避難者や帰宅困難者等の避難行動や救助・救援活動の支障となつており、新たな橋梁が必要とされています。(仮称)押切・湊橋は、行徳街道、篠崎街道、河川管理用通路などと立体交差し、千葉県側は、県道市川浦安線に接続し、東京都側は、柴又街道に接続する橋梁です。

議会の中核を担う創生市川として県と綿密に調整し、早期の完成に向け取り組みます。

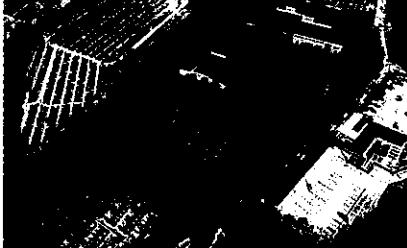


市民斎場

本市大野町にある斎場は、昭和55年の開設以来、約40年が経過し、老朽化が進行しており、またバリアフリーが不十分となっています。

また、本市の死亡者数は、高齢化の進行に伴い徐々に増加しており、近い将来支障をきたすことが想定されます。

斎場は、最後のお別れの場として、だれもが利用することとなる必要不可欠な施設です。このため、すべての方が利用しやすくなるために、市民の代表として皆様の声を行政に届けてまいります。

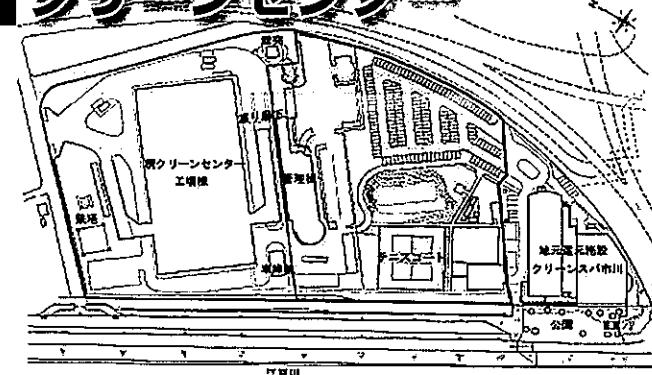


◀完成イメージ鳥瞰図

【新斎場の主な機能】

	現斎場	新斎場
炉数	10基	12基
1日当たりの火葬可能数	15件	23件(最大33件)
詔堂等		
式場	3室	3室
待合室	5室	最大12室
告別室	3室	6室以上
取扱室	2室	
駐車場台数	普通車124台 マイクロバス10台	普通車130台以上 身体障害者用3台以上 マイクロバス10台以上

クリーンセンター



【施設概要】

	新クリーンセンター	現クリーンセンター
焼却能力(燃えるゴミ)	423t/日	600t/日
破碎能力(もやさないゴミ)	27t/日	75t/日
発電能力	11,000kW(参考)	7,300 kW

本市では、一般廃棄物の焼却・破碎処理施設であるクリーンセンターの老朽化に伴い、安定的な廃棄物処理を継続していくため、施設の建て替えを計画しています。

新しいクリーンセンターは、以下の「施設設備に係る基本方針」を基に、現クリーンセンターの南側の敷地に新設し、管理棟は現在のまま利用します。

今回の視察では、現在の施設の見学を行い、市内のゴミ処理における課題について検討しました。次期クリーンセンター建設設計画を推進してまいります。

【施設整備に係る基本方針】

- 効率的に熱エネルギーを回収する施設とする
 - 安全性・安定性に優れた施設とする
 - 災害に対して強靭な施設とする
 - 市民への情報発信の拠点となる施設とする
- (次期クリーンセンター施設整備基本構想 平成28年1月策定)

ご意見、ご提案などがありましたら、下記へご連絡ください。

《連絡先》 〒272-8501 市川市八幡1丁目1番1号 市川市役所 市川市議会創生市川控室

TEL 047-334-1111 内線18202 18203

*議員個人の連絡先は、市川市ホームページ <https://www.city.ichikawa.lg.jp/cou01/1441000001.html> をご覧ください。▶



折込チラシ番号	2024年3月分	発行日	B3	営業担当			
お客様名	株式会社オフィスティースカイ 様	チラシ名		ご連絡先			
調整エリア	□お任せ	調整エリア① No.		残チラシ処理方法	<input type="radio"/> 次回折込 <input type="radio"/> 処分 <input type="radio"/> ご返却		
		調整エリア② No.		配布区分	選挙	折込部数合計	120,144
送付方法	○封筒 <input checked="" type="radio"/> ルート便 <input type="checkbox"/> 手取 <input type="checkbox"/> 集配	封筒印字範囲	封筒裏面範囲	封筒裏面記入欄			
郵便番号	〒274-0062	住所(市町村)	新田・大洲・菅野・須和田・国分・北国分・堀之内・國府台	松戸			

No.	ID	地名	エリアグループ	エリアNo.	エリア名	支払区分	市区町村	郵便番号	折込部数	備考①	備考②
1407	19	市川	新田	037134	新田 4 C	市川	市川市	355	●		
1408	19	市川	新田	037037	新田 4 B	市川	市川市	480	●		
1409	19	市川	新田	037038	新田 5 A	市川	市川市	560	●		
1410	19	市川	新田	037039	新田 5 B	市川	市川市	375	●		
1411	19	市川	新田	037135	新田1C・5 C	市川	市川市	370	●		
1412	19	市川	大洲	037040	大洲 1 A	市川	市川市	385	●		
1413	19	市川	大洲	037041	大洲 1 B	市川	市川市	405	●		
1414	19	市川	大洲	037042	大洲 2 A	市川	市川市	330	●		
1415	19	市川	大洲	037043	大洲 2 B	市川	市川市	395	●		
1416	19	市川	大洲	037044	大洲 3 A	市川	市川市	480	●		
1417	19	市川	大洲	037045	大洲 3 B	市川	市川市	500	●		
1418	19	市川	大洲	037046	大洲 4 A	市川	市川市	522	●		
1419	19	市川	大洲	037047	大洲 4 B	市川	市川市	435	●		
1420	19	市川	菅野	037048	菅野 3・2 C	市川	市川市	355	●		
1421	19	市川	菅野	037049	菅野 6	市川	市川市	500	●		
1422	19	市川	須和田	037050	須和田 1 A	市川	市川市	630	●		
1423	19	市川	須和田	037051	須和田 1 B	市川	市川市	385	●		
1424	19	市川	須和田	037128	須和田 1 C・国分1	市川	市川市	350	●		
1425	19	市川	須和田	037052	須和田 2 A	市川	市川市	480	●		
1426	19	市川	須和田	037053	須和田 2 B	市川	市川市	340	●		
1427	19	市川	国分	037101	国分 1	市川	市川市	455	●		
1428	19	市川	国分	037102	国分 2	市川	市川市	540	●		
1429	19	市川	国分	037103	国分 3	市川	市川市	590	●		
1430	19	市川	国分	037104	国分 4	市川	市川市	580	●		
1431	19	市川	国分	037105	国分 5・6	市川	市川市	310	●		
1432	19	市川	中国分	037106	中国分 1	市川	市川市	380	●		
1433	19	市川	中国分	037107	中国分 2	市川	市川市	440	●		
1434	19	市川	中国分	037108	中国分 3	市川	市川市	560	●		
1435	19	市川	中国分	037109	中国分 4	市川	市川市	580	●		
1436	19	市川	中国分	037110	中国分 5 A	市川	市川市	425	●		
1437	19	市川	中国分	037111	中国分 5 B	市川	市川市	320	●		
1438	19	市川	北国分	037112	北国分 1	市川	市川市	510	●		
1439	19	市川	北国分	037113	北国分 2	市川	市川市	570	●		
1440	19	市川	北国分	037114	北国分 3	市川	市川市	490	●		
1441	19	市川	北国分	037115	北国分 4	市川	市川市	440	●		
1442	19	市川	堀之内	037116	堀之内 3 A	市川	市川市	425	●		
1443	19	市川	堀之内	037126	堀之内 3 B	市川	市川市	460	●		
1444	19	市川	堀之内	037117	堀之内 4	市川	市川市	380	●		
1445	19	市川	國府台	037119	國府台 3・4	市川	市川市	390	●		
1446	19	市川	國府台	037120	國府台 4・5	市川	市川市	420	●		
1447	19	市川	國府台	037131	國府台 5	市川	市川市	350	●		
1448	19	市川	國府台	037121	國府台 6	市川	市川市	265	●		
1450	19	市川	堀越町	037123	堀越町 B	市川	市川市	430	●		
1451	19	市川	東国分	037125	東国分 1	市川	市川市	310	●		
1452	19	市川	東国分	037130	東国分 2	市川	市川市	420	●		
2417	36	八柱・五香	市川大町	061068	市川大町	松戸	市川市	830	●		

小泉文人様

納品書

令和6年2月26日

No.

株式会社オフィスティースカイ

〒 千葉県市川市

TEL FAX

登録番号:

件名: 創生市川 会報11号

商品コード	品名	数量	単位	単価	金額	備考
	市政報告 第11号 タブロイド4頁4/4C 版下作成 160,000円	1	式			10%
	市政報告 第11号 タブロイド4頁4/4C コート70.5kg 印刷・製本 1,260,000円	186,000	部			10%
	ポスティング(市川地区) 地域新聞社 (@4.4 528,634円)	120,144	部			10%
	ポスティング(行徳地区) (@6.5 393,185円)	60,490	部			10%
	調整額 -21,819円					10%
	上記金額を議員8名で按分する	1	式		290,000	10%
	10%税抜計				290,000	
	10%消費税				29,000	
	税抜金額	290,000	消費税等	29,000	合計金額	319,000

小泉文人様

請求書

令和6年2月26日

No.

株式会社オフィスティースカイ

〒 千葉県市川市

TEL: FAX:

登録番号:

件名: 創生市川 会報11号

商品コード	品名	数量	単位	単価	金額	備考
	市政報告 第11号 タブロイド4頁4/4C 版下作成 160,000円	1	式			10%
	市政報告 第11号 タブロイド4頁4/4C コート70.5kg 印刷・製本 1,260,000円	186,000	部			10%
	ポスティング(市川地区) 地域新聞社 @4.4 528,634円	120,144	部			10%
	ポスティング(行徳地区) @6.5 393,185円	60,490	部			10%
	調整額 -21,819円					10%
	上記金額を議員8名で按分する	1	式		290,000	10%
	10%税抜計				290,000	
	10%消費税				29,000	
	税抜金額	290,000	消費税等	29,000	合計金額	319,000

様式第9号（第6条関係）

（交付対象議員用）

支 出 伝 票

交付対象議員	整 理 番 号
	1 - 2

支 出 項 目	資料作成費	令和6年4月1日 起票
支 払 金 額	金 額	円 4 8 1 0 0 0
内 容	市政報告 個人 印刷 ポスティング代	按分割合 100%

《領収書添付欄》

領 収 証 小泉文人 様 No. _____

★ ¥ 638,000-

但し 市政報告ビラ印刷、チラシ化、新聞折込、ポスティング代として

2024年 4月 1日 上記正に領収いたしました

登録番号 [REDACTED]



200円

内訳	
税抜 金額	500,000
消費税額等 (10%)	58,000

aduni
アドユニバース株式会社

代表取締役 [REDACTED]

〒 [REDACTED] 千葉県千葉市
TEL: [REDACTED]

請求書

No.

2024年 3月 27日 締切分

お客様コードNo.

〒272-8501

小泉 文人 様

TEL

FAX

アドユート株式会社

千葉県千葉市

登録番号

TEL

FAX

振込先

毎度ありがとうございます。下記の通り御請求申し上げます。

前回御請求額	御入金額	繰越金額	御買上額	今回御請求額		
				¥638,000	¥638,000	

伝票日付	伝票No.	品名	数量	単位	単価	金額
2024.03.27		市政報告ビラ ・印刷、デザイン代 ・新聞折込 ・ポスティング代 ・営業管理費	20,000 10,000 10,000 1	部 部 部 式	380,000 40,000 10.00 60,000	
		【新聞折込詳細】 読売新聞 計10,000部 販売店名称:市川、本八幡第一、本八幡南部				
		【ポスティング詳細】 計10,000部 市川1, 2, 3丁目、市川南1, 2, 3丁目、菅野3, 6丁目 真間1, 2, 3丁目、須和田1, 2丁目				
		合計: ¥580,000 消費税: ¥58,000 税込合計: ¥638,000				

配布報告書

No.

令和6年3月27日

配布日			市・区	配布地域	配布枚数	備考
3月	18日	月	市川市	須和田 1丁目	400 枚	
	18日	月	市川市	須和田 2丁目	400 枚	
	20日	水	市川市	市川南 2丁目	700 枚	
	22日	金	市川市	真間 1丁目	800 枚	
	22日	金	市川市	真間 2丁目	600 枚	
	22日	金	市川市	真間 3丁目	300 枚	
	23日	土	市川市	市川 1丁目	1,400 枚	
	23日	土	市川市	市川 2丁目	1,200 枚	
	24日	日	市川市	市川 3丁目	1,200 枚	
	24日	日	市川市	市川南 1丁目	1,250 枚	
	24日	日	市川市	市川南 3丁目	1,300 枚	
	27日	水	市川市	菅野3丁目	200 枚	
	27日	水	市川市	菅野6丁目	250 枚	
					枚	
					枚	
					枚	

合計 10,000 枚

市民の風

アドユニバース株式会社

千葉県千葉市

Tel

依頼残数 0 枚

折込広告配布完了報告書

千葉県千葉市

アドユニバース（株）

御中

株式会社 読売IS

〒 東京都中央区

TEL
FAX

作成日付 2024年03月21日(木)

折込指定日 2024年03月21日(木)

照会番号

サイズ A4

折込枚数

広告主 小泉 文人

10,000 枚

広告主詳細

タイトル 市川市議会 市政報告

地区名 / 販売店名		枚数
市川市	小計	10,000
読売 市川		5,500
読売 本八幡第一		2,800
読売 本八幡南部		1,700

市政報告

会派:創生市川
小泉 文人

皆さんのご力をチカラに変えて! より良い市川市を目指します!

【令和6年度一般会計予算】

令和6年度の一般会計予算(当初予算)の主なポイントは、おおよそのとおりです。

令和6年度 当初予算フレーム

一般会計の 予算規模	1,768億円	前年度比 (+100億円、 +6.0%)
特別会計	797億9,500万円	前年度比 (+7億6,800万円、 +1.0%)
公営企業会計	229億1,900万円	前年度比 (+3億8,900万円、 +1.7%)
予算 総額	2,795億1,400万円	前年度比 (+111億5,700万円、 +4.2%)

一般会計予算の総額は1,768億円で、前年度を100億円上回っています。

「民間とともに開く行政サービス」

みなさんの身近にある図書館や公民館、体育馆。「古いなあ」と思ったことはありませんか?

今ある施設の多くは昭和40~50年代に建てられたもので、建設から半世紀が経ち、徐々に建て替えの時期を迎えています。耐震補強は済んでいますが、冷房が効かない、外壁にひびが入るなど、老朽化が進んでいます。

多くの施設がいっぺんに建て替えとなると、膨大な費用がかかります。しかし、財政事情が厳しいことに加え、少子高齢化はさらに進み、人口減少時代がすぐそこまで来ています。今ある施設を今までどおりに役所だけで維持することは、今後ますます厳しくなるでしょう。

そこで、役所と民間が協力して行政のしごとをする公民連携の動きが全国的に広がっています。市川市でも、クリーンスパの運営などで公民連携は行われていますが、これからは民間のお金と経営力をもつともっと行政のしごとに生かす必要があります。

コーヒーを飲みながら利用できる図書館、マンションの低層階にある庁舎、市の土地に民間が建てて経営するスタジアム…。これらは民間のお金とアイデアを生かして生まれた役所の施設の例です。市民の使い勝手はこれまで通り、いや、これまで以上によくなる場合も少なくありません。お金が節約できるだけでなく、サービスの中身もよくなる、公民連携にはそんなチャンスも詰まっているのです。

【当初予算における財政指標等】

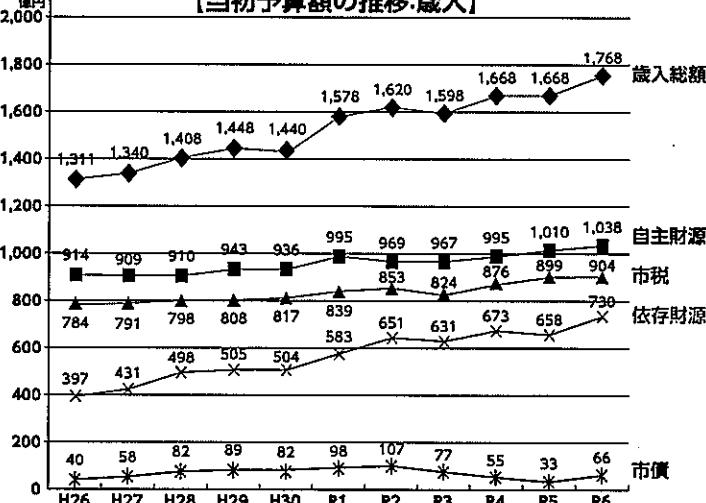
項 目	当初予算額		令和4年度 決 算
	令和6年度	令和5年度	
歳 入 に 占 め る 出 帰 額			
【主な科目別歳入】			
市税	51.2	53.9	▲2.7
地方消費税交付金	6.2	6.5	▲0.3
使用料及び手数料	2.4	2.5	▲0.1
国庫支出金	20.3	21.1	▲0.8
黒支出金	7.9	8.0	▲0.1
市債	3.7	2.0	1.7
【財源内訳】			
自生財源	58.7	60.6	▲1.9
依存財源	41.3	39.4	1.9
歳 出 に 占 め る 出 帰 額			
【主な性質別経費】			
義務的経費	58.1	57.7	0.4
人件費	18.6	18.2	0.4
扶助費	34.9	34.2	0.7
公債費	4.6	5.3	▲0.7
物件費	19.6	21.5	▲1.9
償還過脱事業費	6.2	4.2	2.0
補助事業費	1.2	0.5	0.7
単独事業費	5.0	3.7	1.3
【主な目的別経費】			
総合費	0.5	0.5	0.0
経営費	13.7	11.9	1.8
民生費	50.6	49.3	1.3
衛生費	10.1	13.4	▲3.3
労働費	0.1	0.1	0.0
農林水産業費	0.2	0.2	0.0
商工業費	1.7	1.1	0.6
観光費	0.5	0.5	0.0
土木費	5.9	5.5	0.4
消防費	3.2	3.3	▲0.1
教育費	8.7	8.7	0.0
財政力指標(単年度)	1.105	1.098	0.007
歳 栄 収 支 比 率	94.8	93.5	1.3
公債費比率	5.4	5.6	▲0.2
公債費負担比率	6.9	7.7	▲0.8
1人当たり市税(円)	183,491	182,911	580
			180,193

*5年度の財政力指標は、普通交付財政定額率に基づく数値である。

*6年度の財政力指標は、6年1月末時点において国等から示されている情報に基づき試算した数値である。

*公債費比率及び公債費負担比率は、普通交付財政定額率に基づく数値である。

【当初予算額の推移:歳入】



【未来のために カーボンニュートラルの実現へ】

地球温暖化の原因とされる温室効果ガスの排出量を減らす取り組みが世界で行われています。日本でも、2050年にカーボンニュートラルを達成する目標が掲げられています。

カーボンニュートラルは、温室効果ガスの1つである二酸化炭素の排出量と吸収量を釣り合わせること、つまり、これ以上二酸化炭素を増やさない、ということです。「脱炭素化」も同じような意味のことばです。二酸化炭素の排出量が増えるのは、石油や石炭といった化石燃料を使うから。みなさんが使っているエネルギーの多くは化石燃料がもとになっています。ガソリンや軽油はもちろん、多くの電気が化石燃料を燃やす火力発電で生み出されています。だから、ガソリンで走る自動車から電気自動車(EV)に乗り換える、化石燃料から生まれた電気をなるべく使わず(省エネ)、代わりに太陽光や水力、風力発電などの再生可能エネルギーを増やそう(創エネ)、というわけです。

市川市も、脱炭素社会・カーボンニュートラルの推進を掲げ、令和6年度当初予算でも化石燃料をねるべく使わないようにするため、みなさんに省エネ・創エネを進めてもらうための様々な事業を行なっています。

「取り組みの効果を「見える化」する工夫を」

地球全体で進む温暖化を止めるのは容易ではありません。今このところ、省エネや創エネにはお金も余計にかかります。頭ではわかっていても「私だけが取り組んだって」と思っている人も少なくないでしょう。でも、「自分がやってみよう」と思う人が増えれば、「みんなでやってみよう」に近づきます。一人ひとりが省エネ・創エネに取り組もうとすることが、地球温暖化防止の第一歩になるのです。

そのため行政がしなければならないこと。省エネ・創エネにいろいろな補助金を用意しても、市民に使ってもらわなければ意味がありません。まず必要なのは、市民一人ひとりに「やってみよう」と思ってもらうことだと思います。こうすればこれだけ二酸化炭素を減らせるとか、取り組んだ効果がすぐわかるような物差しをできるだけ多くの市民に知ってもらえるような工夫をしながら、地道な努力を重ねることが大事なんだと思います。



令和6年度当初予算案説明 脱炭素社会・カーボンニュートラルの推進(抜粋)

〈衛生費〉 ■ スマートタウンの普及促進【補助金】

事業目的	脱炭素社会の実現に向けて、家庭における地球温暖化対策の推進と電力の強制化を図り、地域から排出される二酸化炭素を削減する。	当初予算額
内容	家庭でのスマートハウス関連設備の導入に対し、費用の一部を補助する。	6年度 55,218千円 5年度 26,860千円 増減 28,358千円

●対象者：市民(②のみ集合住宅の管理組合、管理者等)

補助対象設備	補助金額
①住宅用太陽光発電設備	1kWあたり5万円(上限22万5千円) ※市内事業者施工の場合のみ対象 ※住宅用太陽光発電設備の補助金額を25千円/kW→50千円/kWへ拡大
②家庭用燃料電池システム(エネファーム)	上限 10万円
③太陽熱利用システム	上限 5万円
④定置用リチウムイオン蓄電システム	上限 7万円
⑤V2H充放電設備	補助対象経費×1/10(上限25万円)
⑥電気自動車(EV)/ プラグインハイブリッド自動車(PHV)	上限 10万円又は15万円
⑦集合住宅用充電設備	上限 50万円又は100万円(国補助額の1/3又は2/3)

〈衛生費〉 ■ 電気自動車等の導入促進【補助金】

事業目的	脱炭素社会の実現に向けて、電気自動車等の普及を促進させ、運動に伴う二酸化炭素排出量の削減を図る。	当初予算額
内容	電気自動車、V2H充放電設備、電動バイクの導入経費の一部を補助する。	6年度 3,772千円 5年度 3,250千円 増減 522千円

●対象者：市民、市内事業者等

補助対象	補助金額	主な補助要件
①電気自動車	上限 10万円	■新車として購入 ■普通自動車・小型自動車・軽自動車 ■車検証の記載…燃料の種類=電気 /使用者の住所・使用の本拠の位置=市内
②V2H充放電設備	上限 5万円	■電気自動車⇒住宅等の電力供給が可能なものの市内の住宅に設置
③電動バイク	上限 2万円	■新車として購入 ■モーターのみでエンジンを併用しない形式のもの ■原動機付自転車、附車付二輪自動車

〈衛生費〉 ■ 省エネ・創エネの普及促進【補助金】

事業目的	脱炭素社会の実現に向けて、事業所等における省エネ対策や再生可能エネルギーの利用を促進し、地域から排出される二酸化炭素を削減する。	当初予算額
内容	事業所等の省エネ改修費用や太陽光発電設備等の創エネ設置費用の一部を補助する。	6年度 1,450千円 5年度 900千円 増減 550千円

●対象者：市内中小事業者等

補助対象	補助金額
①省エネ改修(窓・外壁・天井・床の断熱化・屋根・屋上の高反射率塗装)	上限 20万円
②太陽光発電設備(※市内事業者施工の場合のみ対象)	上限 50万円
③HEMS(エネルギー管理システム)	上限 5万円
④定置用リチウムイオン蓄電システム	上限 20万円

〈土木費〉 ■ 住宅の断熱改修促進

事業目的	カーボンニュートラルの実現に寄与するため、既存住宅の断熱性能を高めることにより、家庭でのエネルギー消費を抑え、市内住宅の省エネ化を促進し、二酸化炭素の排出を削減する。	当初予算額
内容	市民が所有・居住する住宅において、市内に本店のある事業者を利用して行な断熱化工事にかかった費用の一部を助成する。	6年度 25,050千円 5年度 5,009千円 増減 20,041千円

●対象者：市民

分類	項目	補助率	補助上限	補助対象工事
総続事業	窓の断熱化	1/3	10万円	単板ガラスから複層ガラスに変更又は単板ガラスのサッシに内窓を設置
	ドアの断熱化	1/3	10万円	断熱性能があるドアに交換
拡大事業	[高断熱] 窓の断熱化	1/2	20万円	単板ガラスから複層ガラスに変更又は単板ガラスのサッシに内窓を設置 ※基準を満たす断熱性が高い製品を使用し、少なくとも1居室のすべての窓で実施
	[高断熱] ドアの断熱化	1/2	20万円	基準を満たす断熱性が高い製品を使用
	壁・床・天井の断熱化	1/2	30万円	壁・床・天井のいずれか断熱材が使用されていない箇所へ新たに断熱材を使用

○その他の事業

- 地域新電力会社の設立 <6年度当初予算額 82千円>
- 水産業振興負担金(三番瀬でのアマモ植付けなど) <6年度当初予算額 1,306千円>
- カーボンニュートラルの普及啓発(省エネ、ZEB、住宅のエネルギー診断等に関する講演会) <6年度当初予算額 200千円>

皆さんのご意見、ご要望をお聞かせ下さい。

市議会の市政報告を読んで、また日頃の市政一般のご意見、ご要望をぜひお聞かせ下さい。

〈連絡先〉 〒272-8501 市川市八幡1丁目1番1号

市川市役所 市川市議会創生市川控室 電話:047-334-1111

会派:創生市川 小泉 文人